

1 やまがた緑環境税導入の背景と目的

山形県は県土の約7割が森林です。これらの森林は、川に豊かな清水を注ぎこみ、私たちの暮らしを災害から守り、地球温暖化防止へ貢献し、暮らしに欠かせない木材を供給するなど、大切な役割を果たしています。



それが今は・・・

林業経営意欲の衰退、農山村地域の過疎化、化石燃料に依存した生活様式の変化などにより

森林のはたらき



- 林業離れや人と森との関わりの希薄化が進み、手入れの行き届かない森林が増加
- 森・川・海をつなぐ水環境や森林等の自然環境を支える生物の生息環境などの悪化
- 森林全体の公益的機能を維持・保全することが困難に

森林の危機！

このまま放置すれば私たちの暮らしに深刻な影響が！

- ◆水害や土砂災害の増加
- ◆自然景観や安全快適な生活環境が損なわれる
- ◆豊かな水が得られなくなる
- ◆生物多様性が失われ野生生物の被害が増加

一度荒れた森林の再生には莫大な経費と長い年月がかかります。

そこで **やまがたの森林を守り育み、未来につなぐために森林を県民全体で支える新たな仕組みを構築**

やまがた緑環境税の導入 H19.4～



それまでの施策

林業活動への支援を軸とした森林管理



県民みんなで支える森づくり

- ・環境保全を重視した森づくり
- ・水環境や生物環境の保全
- ・自然環境教育の推進 など



県民みんなが安心して暮らせる
みどり豊かな
やまがた

県民みんなで支える森づくりの着実な推進

森林の持つ公益的な機能を維持増進し、持続的に発揮させるため、「県民みんなで支える森づくり」を着実に推進

森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成

費用負担等を通して、森林の重要性についての理解を深め、森林をすべての県民で守り育てる意識を醸成

2 やまがた緑環境税のしくみ

やまがた緑環境税は、全額を基金として管理し用途を限定して使います

納める人

県内に住所や事務所等がある個人・法人

住民税（県民税均等割）の納税義務者と同じです

納める額

個人・・・1,000円／年

法人・・・県民税均等割の10%相当額（資本金等の額に応じて）

資本金等の額	1千万円以下	1千万円超 1億円以下	1億円超 10億円以下	10億円超 50億円以下	50億円超
税額／年	2,000円	5,000円	13,000円	54,000円	80,000円

納め方

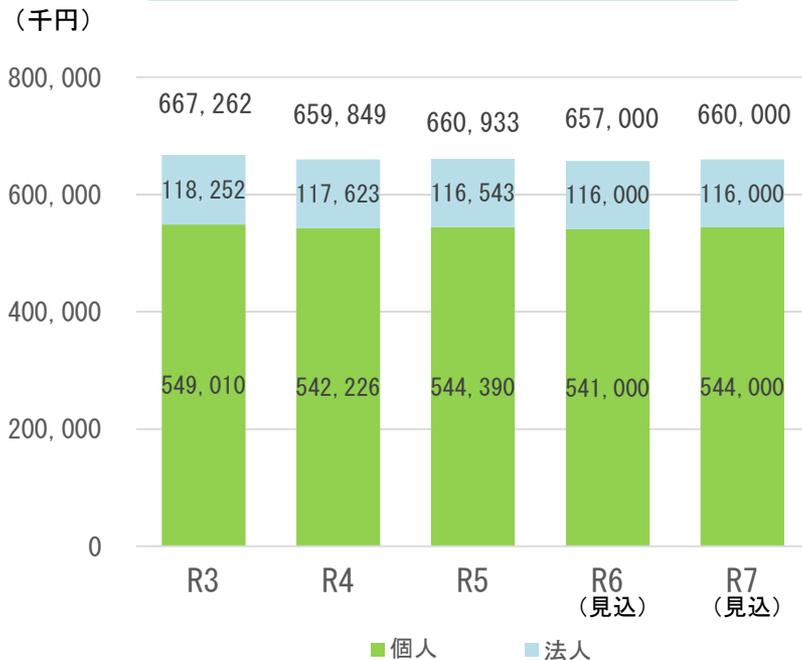
住民税と一緒に納税

住民税に上乗せして納めていただいています

3 やまがた緑環境税活用事業費

- ・やまがた緑環境税の収入額は、毎年度、概ね6億6千万円前後で推移しています。
- ・やまがた緑環境税を活用した事業費は、税込に前年度の繰越額等を加えて、概ね年間6億8千万円前後で推移しています。
- ・施策の年間事業費に占める事業費の割合は、概ねハード事業が77%、ソフト事業が23%前後で推移しています。

やまがた緑環境税
収入額の推移



やまがた緑環境税を
活用した事業費の推移



4 やまがた緑環境税活用事業

県民みんなで支える森づくり(事業体系)

I 環境保全を重視した森林施策の展開【ハード】

- ① 環境保全を重視した森林整備の推進
- ② 森林資源の循環利用の促進

II みどり豊かな森林環境づくりの推進【ソフト】

- ① 県民参加の森づくりの推進
- ② 自然環境保全対策の推進

III 豊かな緑を守り育む意識の醸成【ソフト】

- ① 森林・自然環境学習等の推進
- ② みどりを育む意識の醸成
- ③ やまがた緑環境税の評価・検証等

I 環境保全を重視した森林施策の展開

人工林の整備の推進

人工林（主にスギ人工林）

生育不良・気象害大

スギの生育適地

＜針広混交林型＞

広葉樹との混交を促進するために強度の間伐等を実施



～自然生態系が豊かで公益的機能が高度に発揮される森林へ～

＜針葉樹林維持型＞

適正に維持・管理するための間伐や森林作業道等の設置



～人工林として長期間維持・管理することで
公益的機能が持続的に発揮される森林へ～

※ 手入れの際は、県が所有者と林地の転用禁止などを盛り込んだ協定や同意を結びます。

I 環境保全を重視した森林施策の展開

里山林の整備の推進

里山林（主にマツや広葉樹）

病虫害被害大

＜里山林再生＞

マツ枯れやナラ枯れにより被害を受けた木を伐倒処理



～多様な樹種や年齢で構成する、緑豊かな明るい里山林へ～

景観上重要

＜森林景観整備・人と動物との共存林整備＞

下刈りやつる伐り、間伐を実施



～景観悪化森林の解消や野生生物との緩衝帯の設置～

※ 手入れの際は、県や市町村が所有者と林地の転用禁止などを盛り込んだ協定等を結びます。

I 環境保全を重視した森林施策の展開

森林資源の循環利用の促進

1 森林資源再生事業【H27年～】

森林の再生に向け、再造林の経費を支援



2 森林資源循環利用促進事業

間伐等で発生する低質材を、集成材用ラミナや木質バイオマス燃料等にも利用するための搬出支援



3 広葉樹林健全化促進事業【H22年～】

ナラ林の伐採による若返りと、チップ等へ活用するための搬出支援



Ⅱ みどり豊かな森林環境づくりの推進【ソフト】

① 県民参加の森づくりの推進(みどり豊かな森林環境づくり推進事業)

県民提案型

豊かな森づくり活動



森や自然とのふれあい活動



市町村提案型

豊かなもりづくり活動



森や自然とのふれあい活動



市町村里山アクションプラン

豊かな森づくり活動



木に親しむ環境づくり



Ⅱ みどり豊かな森林環境づくりの推進【ソフト】

① 県民参加の森づくりの推進 (やまがた絆の森づくり)



絆の森参加企業による森林整備活動集合写真



「やまがた絆の森」協定式

H21 R6
9企業 → 40企業



CO₂森林吸収量
認証書

② 自然環境保全対策の推進



ブナ・ナラ豊凶調査



ツキノワグマ生息状況調査



里山に出没する大型野生
鳥獣生息動向調査



山辺町で負傷していたニ
ホンカモシカの救護・放
獣

Ⅲ 豊かなみどりを守り育む意識の醸成【ソフト】

① 森林・自然環境学習等の推進



やまがた木育人材養成講座
(受講者による実践)



小学校5年生向けの副教材

③ やまがた緑環境税の 評価・検証等



やまがた緑環境税評価・検証
委員会（現地視察）

② みどりを育む意識の醸成

みどりの日の新聞広告



やまがた木育体験会



パネル展示



YouTube Instagramを活用した普及啓発



みどり自然課のYouTube
はこちらから



やまがた緑環境税
広報誌

情報誌「mamaid」
への掲載

県民みんなで
支える森づくり



やまがた緑環境税

やまがた森の感謝祭2025

身近な木もっと広がる未来まで

令和7年6月7日(土) 新庄市民スキー場



式典状況

植樹状況

